



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算2891回 第41例会
2016年 5月13日
毎週金曜日

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

2015-2016年度 R | 会長
K.R. "ラビ" ラビンドラン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171

◀ 例会場 事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2015-2016年度 人吉ロータリークラブテーマ

ロータリーの贈り物を届けよう

— 先ずは自分自身に そして周りの人達に—

本日の進行 (目次)

- 会長の時間 P 1
- 幹事報告 P 2
- 出席率報告、寄付の申し出、会務報告 P 2
- 結婚誕生祝い、ロータリーの友紹介 P 2~3
- 震災について 緒方茜さん・本田会員 P 3~4
- 二コ箱.R財.米山.奨学金 寄付カード P 4

点 鐘 延岡研一会長

歌 唱 ッガリーダー 中村太郎委員

国 歌「君が代」

R S「奉仕の理想」

司会・進行 葉山稔洋 プログラム委員長

来訪者紹介

人吉市社会福祉協議会 緒方 茜さん
(人吉RAC)

会長の時間

会長 延岡研一

先ずはご報告ですが、5月10日に姉妹クラブの国際ロータリー第3480地区台北稻江RCから100万円の義援金が届きました。理事会において地区の開設口座に送金する事と致しました。なお、当クラブとして追加の義援金は行わない事としました。なお、南相馬RCからも当クラブを通じての義援金の申し出が来ておりますので、入金があり次第、同様に地区に送金いたします。

今日は熊本地震で被災された熊本市民病院で助産師として勤務されている、本田菜穂子さまにおいで頂き、一カ月遅れの「母子も健康月間」卓話をして頂く予定でしたが、お仕事の関係でおいで頂ける状態ではないということで、本田様の卓話は次年度に申し送りしたいと思います。

なお、本田様から義理の弟の水野幹事を通じてメールが届いておりますので紹介させていただきます。

人吉ロータリークラブの皆様へ

この度は、お引き受け致しておりました卓話を

お断りする事となり、大変なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。昨年のうちにこの卓話のお話をいただき、母子支援の重要性を地域の皆様にお伝えするいい機会を頂いたと、お話出来る日を楽しみにしておりましたので、私も残念でなりません。私は被害が大きかった益城町に住んでおり被災後しばらくは、車中生活や避難所生活も余儀なくされましたが、今では倒壊の危険性ありの『赤紙』が貼られた家で、今も尚続く余震にビクビクしながらの生活ではありますが、少しずつ落ち着いてはきました。しかし、勤務先である熊本市民病院は一部外来診療が始まったものの、多くの職員は避難所の救護や区役所の応援・地域ボランティア活動を24時間体制で頑張っている状況で休みの希望も言えません。今、私も被災した母子の支援に取り組んでいるところで、この不安な環境の中で育児を強いられる母子には、尚一層のきめ細やかな母子に寄り添ったエモーショナルなケアが必要と感じています。この先、まだどうなるかわかりませんが、状況が許せばまたいつか卓話の機会を頂けたら、幸いに存じます。人吉ロータリークラブの皆様の益々の御活躍をお祈り申し上げます。熊本市民病院助産師・IBCLC本田菜穂子

因みに、卓話の演題は「母と子の触れ合いから始まる育児 — 今、母乳育児を通して伝えたいこと —」何れ拝聴できる機会を楽しみにしておきましょう。

さて、本田さんのメールからも分かるように被災地はまだまだ復興の第一歩を踏み出すと云ったところです。

ということで、今日は本田会長エレクトに加えて、被災当初から被災地支援をしている人吉市社会福祉協議会勤務でアクト会員の緒方茜さんにおいで頂いて、現地の現状やボランティア活動状況、更には今後の支援の在り方などを話して頂く事と致しました。クラブとして、ロータリアンとして、事業所として、家族として、個人として、それぞれに合った支援ができればと考えます。

【理事会の承認事項】

台北稲江RC100万南相馬RC(未定)からの義捐金
取扱いの件→ 熊本地震総合支援室義援金口座へ

【連絡事項】

- ・ 5月ロータリーレート1ドル=110円。
- ・ 野田ガバナーより平成28年熊本地震現状報告第2報；①被害の大きかった7クラブ熊本りんどうRC・熊本東RC・熊本東南RC・熊本城東RC・熊本平成RC・水前寺公園RC・熊本江南RC(他のクラブについては調査中) ②会員の事業所や自宅では被害が大きかった方もあり、大きな怪我は無かったとのこと。この7クラブでは今週(5月9日の週)から例会を再開。③地区の義捐金口座へは5月6日現在4,800万円義捐金が寄せられた。地区としては今後の被災現場のニーズを見極めてロータリアンが一致団結して、復旧・復興に対し奉仕活動や義捐金活用も含めて対応したい。今後もご支援ご協力をお願いしたい。
- ・ ガバナー月信5月号が地区ホームページに掲載。地区指導者育成セミナーのパネルディスカッションのパネラー延岡会長掲載

【回覧物】

人吉医療センター広報誌「翔」

出席率報告

副委員長 大久保勝人

会 員 数	63名	本日の出席率	
出 席 免 除	5名	87.93%	
欠 席 者 数	7名	5 / 6 出席率	例会取止め
出 席 者 数	51名	補 填 数	
免除会員出席者数	0名	修 正 出 席 率	

- *届け出欠席 新堀・中村・有村・村田・田上・大久保 戸高・尾上・本田・外山・堀川
- *出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 益田, 岩本, 齊藤
- *メイクアップ 地区大会; 有馬・小林清・伊久美・鳥井 地区研修協議会; 漆野 人吉RAC; 安達

≪ 寄付の申し出 ≫



水野虎彦幹事より長女の結婚記念として、R財団、米山記念奨学会、人吉RC奨学基金委員会へご寄付がありました。

【親睦委員会】

委員長 原田知一郎

5月の誕生祝い

- 平田 フク会員 9日
- 下田 文仁会員 31日



5月の結婚祝い

井手 富浩会員 3日	安方 晃会員 3日
渡辺 洋文会員 6日	岡 啓嗣郎会員 15日
中川 貴夫会員 18日	原田 知一郎会員 22日
村山 能史会員 28日	

【雑誌委員会】

ロータリーの友5月号紹介

紹介者 竹長一幸委員長

横組の方から、表紙は和歌山県の高野山です。弘法大師空海がこの地に道場を開いてから1200年を迎え、昨年「高野山開創千二百年記念大法会」が行われたそうで、その時の写真だそうです。

P3、RI会長メッセージとして「ロータリーの物語は書き換えられなければならない」という記事があります。ラビンドル会長は、ケニアでの水供給設備の工事の失敗例を紹介し、女性の声を聞くことの重要性を説いています。そして、ロータリーに女性会員を迎え入れることの意義を語っています。「女性差別を容認することは、ロータリーをまったく見当違いの組織へ追い込むことになるでしょう」と述べています。

P7~P13では、「子どもたち、若い人たちが夢を持てる未来のために」というタイトルで特集が組まれています。多くのロータリークラブで青少年や子どもたちへ向けての奉仕活動を実施されています。その活動の様子が紹介されています。その中から1つ紹介すると、宮崎の日向ロータリークラブでは、今年から統合される小学校の児童を対象に、子供たちが仲良くなるきっかけになればと、理科の科学実験教室を開いたそうです。その他、各クラブの活動が紹介されています。

P14~P17では、「異文化に接して ~青少年交換派遣を通して」というタイトルで、日本から様々な国へ派遣された交換留学生の海外での体験談が紹介されています。その中から1つ紹介するとP17で仙台からパリへ留学した女の子の体験談を紹介します。昨年の8月から留学したそうですが、まだ生活にも慣れていない3か月後の11月にパリ同時多発テロ事件が発生し、怖さと不安の中での生活の様子が書かれています。海外に出るという事は、単に語学や文化を勉強するだけではない、危険な事もあるという事を痛感し、あらためて日本の安全性を再確認したそうです。その他の皆さんも海外で貴重な体験が出来たことに感謝されました。

P18~P20では、「This Close」というタイトルでポリオ撲滅に取り組むロータリアンたちの活躍を紹介しています。そのなかで熊本のロータリークラブが2つ紹介されています。熊本城東ロータリークラブと熊本南ロータリークラブの募金活動の様子が紹介されています。

P21では「あなたのクラブに女性会員はいますか」という記事があります。現在世界中のロータ

リー会員の約20%が女性会員だそうです。日本だけで見ると約5%しかいないそうです。この記事はロータリーの友の編集長（女性の方）が書かれており、女性会員の必要性について述べています。

P37のガバナーのページでは2720地区 野田三郎ガバナーの記事が掲載されています。「人生の豊かさの一助に」というタイトルで、今年度の取り組みと成果について述べられていますので、是非ご一読ください。

縦組の表紙は沖縄久米島の「ハテの浜」だそうです。久米島の東5キロにある砂浜だけの無人島で、エメラルドグリーン的大海と限りなく広がる砂浜が美しく、映画「釣りバカ日誌」の沖縄編でも登場したそうです。

P9～P12 わがまち・・・そしてロータリーでは埼玉県の埼玉市が紹介されています。鉄道のごことは詳しくないが、明治18年に大宮駅が開業してから「鉄道のまち」として発展してきたそうです。平成19年には鉄道博物館が開業し年間80万人の入館者でにぎわっているそうです。それとさいたま市はスポーツも盛んでサッカーではJリーグの浦和レッズと大宮アルディージャの2チームがあり、地域を挙げて応援しているそうです。その他、昨年から「埼玉国際マラソン」も開催しており、ますますスポーツが盛んな町になっているそうです。

その他、P13友愛の広場、P18卓話の泉、P22ロータリーアットワーク、などたくさんの記事が掲載されていますので、ぜひご覧になってください。

【プログラム委員会】<震災について>

災害ボランティア活動について

人吉市社会福祉協議会 緒方 茜さん
(人吉RAC)

災害ボランティア活動とは

災害時にも、人の暮らしを支えるために、被災地を勇気づける大きな力となる「ボランティア」はとても大切で、被災者の心に寄り添う活動として、被災地の復興支援において重要な役割を果たしています。熊本県社会福祉協議会の発表では、災害ボランティアセンターに実際に来て活動をした人は5/10現在で約4万人と報告されています。

主な活動内容

- ・救援物資の仕分け
- ・物資調達、運搬
- ・炊き出し
- ・屋内、屋外の片づけ
- ・被災住民の安否確認



現在本田節会員さんが行こなっておられる炊き出し活動、また、倒れた家の周りの片づけや家の中の家財を元に戻すボランティア活動、地元のボランティアの皆さんは率先して被災住民の安否確認を行なっている状況です。

避難所にいる子供たちと遊んだり、マッサージしたり、足湯を行ったり、心を癒すようなボランティ

ア活動も行われています。

その他、理容(散髪)、介護、お話し相手・傾聴など地震後時間が経ってから必要になってくる活動もあります。その時期のニーズに応えたボランティアが展開されておりま。

災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターは社会福祉協議会単独で設置することもあれば、NPO、地域ボランティアと一緒にセンターを設立する場合があります。活動の内容は、受入れと被災者が必要としているニーズの把握になります。



写真；職員の方がボランティアに来た方たちに活動内容を説明しているところなのです。

**家の片付けなど
私たちボランティアが
お手伝いします！
災害ボランティアセンターにご連絡ください！**

ご依頼があっても、高齢者一人暮らし、高齢夫婦世帯、障がい者の方を優先させていただきます。
ボランティアへのご依頼はありますか？
また、ご近所でお困りの方をご存知ではありませんか？

◆ボランティアの依頼方法
電話がファックスで災害ボランティアセンターへお申し込みください。
[ファックスの場合は、届書の様式に必要事項を記入して送信してください。]

◆受付時間
平成28年4月19日(火)～
◆受付時間
午前9：00～午後4：00

※注意(特)
①地震により被害を受けた家の中の片づけなどは危険を伴う依頼は、お断りさせていただきます。

熊本県災害ボランティアセンター
090-6653-1592
1581
依頼書送付先FAX 354-2122

これは被災された皆さんにお配りしたチラシです。

私も4/22日災害ボランティアセンターが出来た初日にセンターの存在を知っていただくためのチラシ配りの作業をしてきました。



地図) 現在熊本県内で災害ボランティアセンターを設置している所

随時情報を公開しています。

◆熊本県社会福祉協議会ホームページ
<http://www.fukushi-kumamoto.or.jp/>

◆熊本県ボランティアセンターTwitter□
<https://twitter.com/kumavc>

◆熊本県災害ボランティアセンターFacebook□
<https://www.facebook.com/kumashaky/>

熊本市の様子



震災について

本田 節 会員

熊本県を中心に2016年4月14日、16日に2度にわたり発生した大きな地震。火の国未来づくりネットワーク“ひとくまねっと”のところには、これまで長年共に熊本の地域づくりを行ってきた被災した仲間達から、「地元が大変だ」「水がない、食べ物がない、ガソリンがない…」などと多くの多くの悲痛の声が届き、「今、取り組まねば何が地域づくりといえるだろうか」という思いで、必要なところへ必要なモノ・コトを迅速にお届けし、被災された地域の皆様に少しでも元気になってもらいたいと、目に見える支援活動を長期的かつ持続的に行う活動をはじめました。

全国各地から頂戴した支援金と支援物資。これらを元に4月17日の南阿蘇への物資のお届けを皮切りにこの間全6回の支援活動を行い、益城町や松橋等へ、温かいご飯と汁物、甘いぜんざいなど、日頃の食卓をお届けに行きました。また、支援を行う側が心も身体も元気であることが大切であるため、この度の震災対応にあたられている熊本県災害対策本部室への差し入れも行いました。



この度の支援活動にあたっては、全国より頂戴した多大なるご支援が無ければ実施できておりません。地震発生後すぐに東北からは頂いたお餅やお米を頂戴し、またその他全国の地域づくりの仲間たちからガス



ボンベやオムツ等、沢山の物資を頂戴しました。人吉の企業様からも調味料等をご支援いただいています。

鹿児島島の錦江町のNPO団体より軽トラックいっぱいのお野菜を頂戴したこともありました。そのお野菜は、人吉のボランティア団体の皆様により、干し・漬け物・冷凍等、今後の炊き出し用に長期的に活用すべく、様々な料理に加工し、真空パックなどで保存しました。このように野菜を生産された農家の想い、届けていただいたNPOの皆様の想い、そして調理加工した人吉の皆様の想いが繋がって、さらに大きな支援の輪となっています。

支援に参ると、こちら側としても元気をもらうことはもちろんのこと、地域づくりの原点を見つめ直す機会が沢山あります。引き続き命と心をつなぐ支援として、ネットワークを活かして、今後も引き続き活動を行って参りたいと思います。

【寄付カード】 ニコニコ箱委員長 永尾禎規

〈ニコニコ箱委員会〉

- ・延岡会長 本田さん、緒方茜さん、急なお願いでしたが、パワーポイントを準備してわかりやすい説明ありがとうございました。ボランティアの必要性和難しさがありますね。葉山さんもなまるコンテナ受け入れご苦労様でした。まだまだこれから頑張っていきましょう。ところでお雑煮やぜんざいのお餅はいっぱい作って引っ付かないのでしょうか？
- ・下田会員 私ひとりの為にお祝いの歌をうたっていただきとても緊張してしまいました。ありがとうございました。40代最後の年、がんばります。
- ・原田会員 結婚記念品のお祝いを頂き有難うございました。
- ・山田会員 早退します。

〈米山記念奨学委員会〉

- ・伊久美会員 米山記念奨学会に特別寄付いたします。

点 鐘 延岡研一会長